



国労中国

2026年
6月27日
第3号
発責 倉下文明
編集 教宣部

これでいいの？あわや触車！

2026年3月31日、伯備線・備中神代駅構内にて「あわや触車」という不安全事象が発生、国労中国地方本部は「緊急申し入れ」を行い、5月25日、団体交渉にて会社の受け止め及び対策などについて議論してきました。

まず、作業の進捗状況でも気になったのでしようか？とても「人命優先」とは言えない対応と言えぬのではないのでしょうか？

また、この度の事象を受けて、現在、列車通過3分前となつてい

今回の事象は、列車（機関車）が予定時刻より5分前に駅に到着、線路沿いに作業場所を移動中の作業員が付近の踏切の鳴動により列車が接近していることを認識、安全な場所に退避したため「事なき」を得たというものでした。

たざるを得ません。また、事象発生後の関係各所への周知・連絡も遅く、何ら対策もないままに同種作業が継続をされました。交渉の席では「関係者での情報共有の迅速さに課題があったと認識している」としたものの、事あるたびに「安全が確認できないときは列車を止める・作業をやめる」よう警告を発しているにも拘



マネジメント出来ていますか？

去る6月9日、経営小委員会において、申4号「中国統括本部『中期経営計画』に関する説明要求書」について、会社と議論してきました。

特徴的な会社とのやり取りなど何点かに絞っての報告となります。

まずは、「働き方改革・多様な人材が活躍できる環境」に関する項目として、「長時間労働の是正・年休取得率の向上」について、会社からは「法令順守のみならず、ワークエンゲージメント向上の観点から長時間労働の是正を行いたい」「ひいては採用競争力の強化につながる」などの回答がありました。人材確保に関しても、「採用目標には達しているが非常に厳しい状況にある」との回答がされますが、選択される企業となるには、今まで以上に社員へ

のライフワークバランスへの配慮と職場環境の改善が必要だと言えるのではないのでしょうか。そういう意味で、課題となるのが「心理的に安全な職場作り」についてです。

メンタルヘルスに不調を訴える社員の話をする耳にすることがちよくちよくありますが、その背景には、ハラスメントなど人間関係の悪化があることが社会的にも問題となっています。

その点について、中国統括本部の認識を問うたところ、「中国統括本部内でも、年間数件発生している」「職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させるような言動を行ってはない」との回答でした。教科書通りの回答ですが、マネジメントすべき管理監督層にあって会社としてどう把握し、問題があれどのが大事なのではないのでしょうか。

引き続き、会社と議論していこうと考えています。



疲弊する現場！際限ない効率化

6月9日、中国統括本部より「2026年実施する主な業務改善施策について」提案を受けました。新規施策として①指令所における契約社員業務の見直し②車両関係では、検修工事契約業務の見直し③建築・機械系等における業務執行体制の見直し④電気関係の山陰エリアにおける設備管理体制の見直しの4点について提案があり、継続施策として、①効率的な駅業務運営体制の構築②乗務員関

係では、輸送体系の見直し③持続可能な乗務員区所体制の見直し④車両関係として、業務区分の見直し等を踏まえた区所検修体制の見直し等です。施策の提案にあたり、会社からは「生産年齢人口の減少によって、今後ますます労働力の確保が困難となる中、将来にわたり事業を維持・発展させていく観点」からの提案であることが強調されていますが、行き過ぎた効率化は現場を疲弊させ、

それこそ離職や採用競争力の低下にも繋がりがねないのではないのでしょうか。現場では、業務量を減らすために労働者自ら効率的な働き方を求めがちですが、余裕が出来れば、また、効率化、「際限ない」とはこのことです。



編集後記

6月23日は、太平洋戦争末期の沖縄戦の戦没者らを悼む「慰霊の日」でした。日米合わせて約20万人が犠牲となり、県民の四人に一人が亡くなったとされています。戦時下では、米軍の本土上陸までの時間稼ぎの為に「捨て石」とされ、今また、辺野古基地建設をはじめ、自衛隊の南西シフトにより軍備の増強が進む。本土で暮らす私たちの無関心が、こうした沖縄の現状を許していないか。